

# 2023年度第10回海洋安全保障シンポジウム



笹川平和財団 客員研究員 倉持一

信頼醸成と武力紛争抑止の柱としてのシーパワー  
—日中間に成立している信頼と安心の観点から—

1. 海洋安全保障の現状
2. 不確実性の高い状況下における二国間関係
3. 「信頼」と「安心」
4. 現状と今後の課題

本日の発表の構成

1. 海洋安全保障の現状
2. 不確実性の高い状況下における二国間関係
3. 「信頼」と「安心」
4. 現状と今後の課題

本日の発表の構成

# リアリズムの再確認

→ 国家を**規制**することは**不可能**

安全保障関連技術の新たな方向性（長距離、無人化など）の  
顕在化

→ 実力行使への**ハードルの低下**

（海運を含めた）経済関係の複雑化・輻輳化

→ 東西冷戦構造の**崩壊**と経済的競争の**グローバル化**

## 1. 海洋安全保障の現状

## リアリズムの再確認

→ 国家を**規制**することは**不可能**

安全保障関連技術の新たな方向性（長距離、無人化など）の  
顕在化

→ 実力行使への**ハードルの低下**

（海運を含めた）経済関係の複雑化・輻輳化

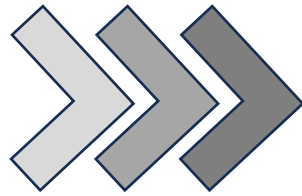
→ 東西冷戦構造の**崩壊**と経済的競争の**グローバル化**

**現状 | 社会的不確実性（予見不可能性）が増大している**

1. 海洋安全保障の現状
- 2. 不確実性の高い状況下における二国間関係**
3. 「信頼」と「安心」
4. 現状と今後の課題

**本日の発表の構成**

「信頼」と「安心」  
のアンバランス状態



疑心暗鬼  
過剰反応  
エスカレーション

## 2. 不確実性の高い状況下における二国間関係



1. 海洋安全保障の現状
2. 不確実性の高い状況下における二国間関係
3. 「信頼」と「安心」
4. 現状と今後の課題

**本日の発表の構成**

私たちは「信頼」と「安心」を同一視しがち

### 3. 「信頼」と「安心」

しかし、「信頼」と「安心」は全く異なる

### 3. 「信頼」と「安心」



信頼のメーター



安心のメーター

「信頼」と「安心」は全く異なる2軸で動く

信 頼

能 力

「できる」か「できない」か

意 思

「やる気がある」か「無い」か

安 心

ルール

「協定」「条約」「同盟」など

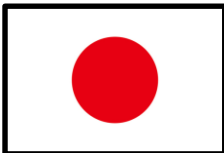
懲 罰

「抑止力」「反撃力」など

異なる「信頼」と「安心」の構成要素

1. 海洋安全保障の現状
2. 不確実性の高い状況下における二国間関係
3. 「信頼」と「安心」
4. **現状と今後の課題**

**本日の発表の構成**



信 頼

能 力

「できる」か「できない」か

意 思

「やる気がある」か「無い」か



安 心

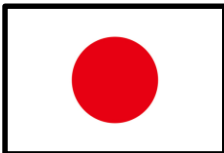
ル ー ル

「協定」「条約」「同盟」など

懲 罰

「抑止力」「反撃力」など

東西冷戦下からこれまで



信 頼

能 力

「できる」か「できない」か

意 思

「やる気がある」か「無い」か

両国ともバランスが必要



安 心

ルール

「協定」「条約」「同盟」など

懲 罰

「抑止力」「反撃力」など

今後の課題 | 「信頼」と「安心」のバランス





日本の課題 | 意思の明確化とルールづくり

日本は、冷戦構造を前提とした伝統的な思考を捨て去り、  
**「信頼」と「安心」のバランス**のため、**意思の明確化**  
を図り（暗黙の了解は通用しない）、**ルール作り**（些細  
なことでもルール化する）を強化する必要がある。

## 結 論